

MONTHLY

0405



Vol. 6



はじめに

特集 「瓶」

瓶

紫藤春彦

a myopic view

大友裕司

連載 1 / ハンニヤシンキョウ

綾野俊介

連載 2 / iPadでPainting

スギオカカズキ

おわりに

はじめに

今回の特集テーマは「瓶」。

写真もさることながら、紫藤くんの3Dモデリングが出色の出来です。

というか、工業製品と3Dは基本的に相性がいいんでしょうね。

車のカタログなどにも、ドンドン3Dが使われ始めているようですし。

ともあれ、いろんな表現を楽しんでいただければ幸いです。

「OSAS」は、ビーワークスという会社で働く有志が集まって作った電子マガジンです。

発起人は、大友裕司、紫藤春彦、綾野俊介、スギオカカズキの4人。

雑誌名の「OSAS」は、大友、紫藤、綾野、スギオカの頭文字を

組み合わせたものです。



瓶

SHIDO HARUHIKO

by Blender

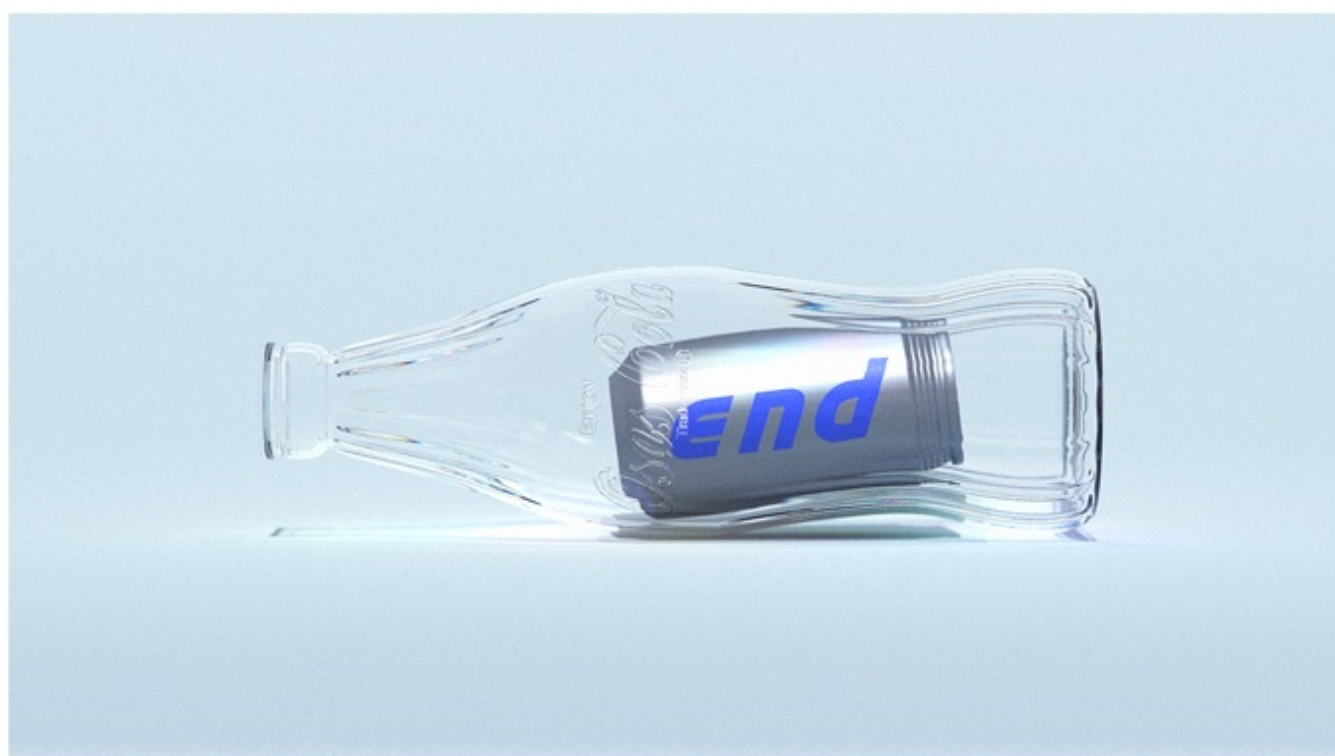


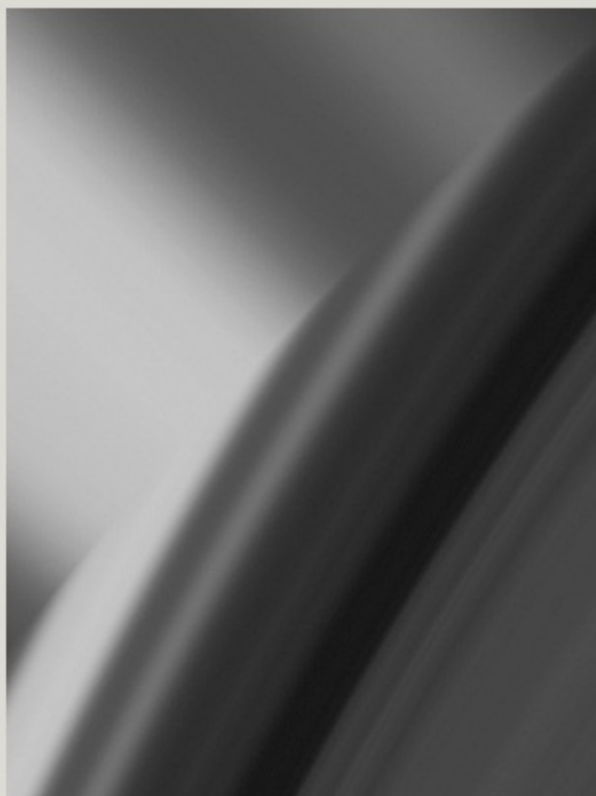
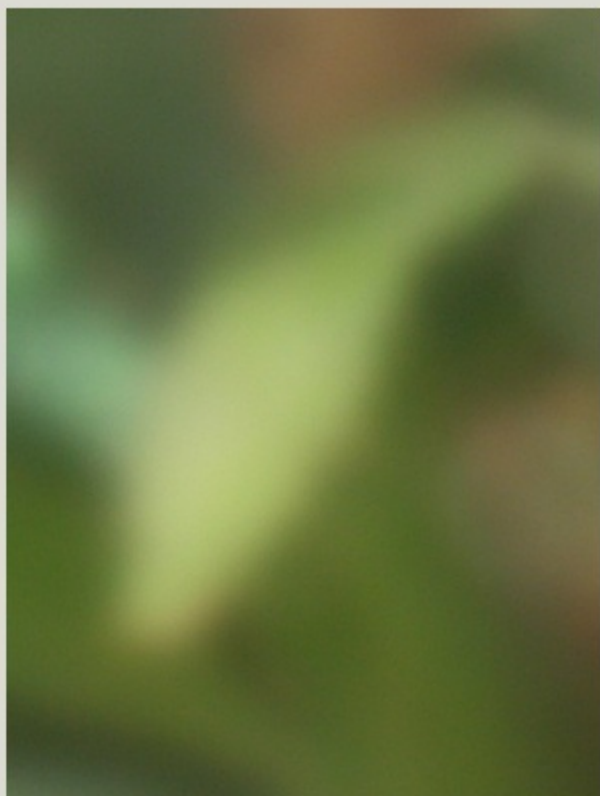


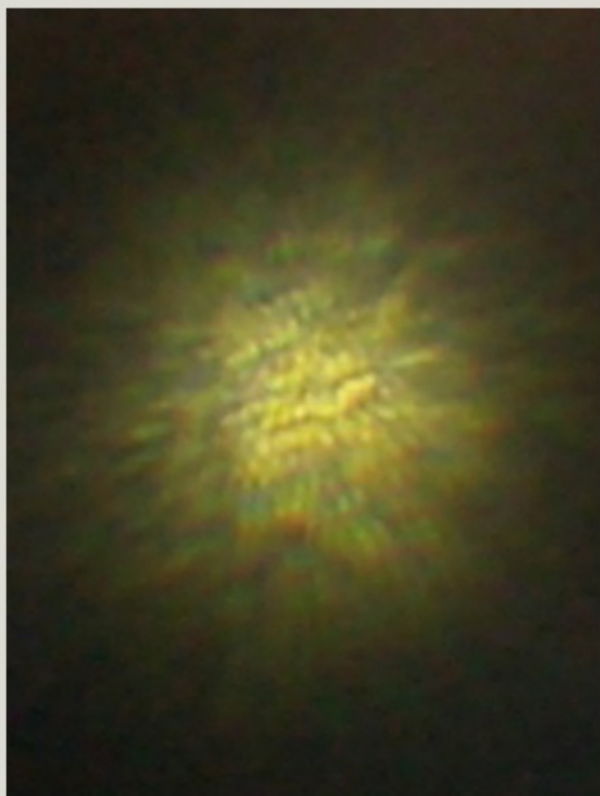
Champagne
Osas Pérignon
vintage 2011
★

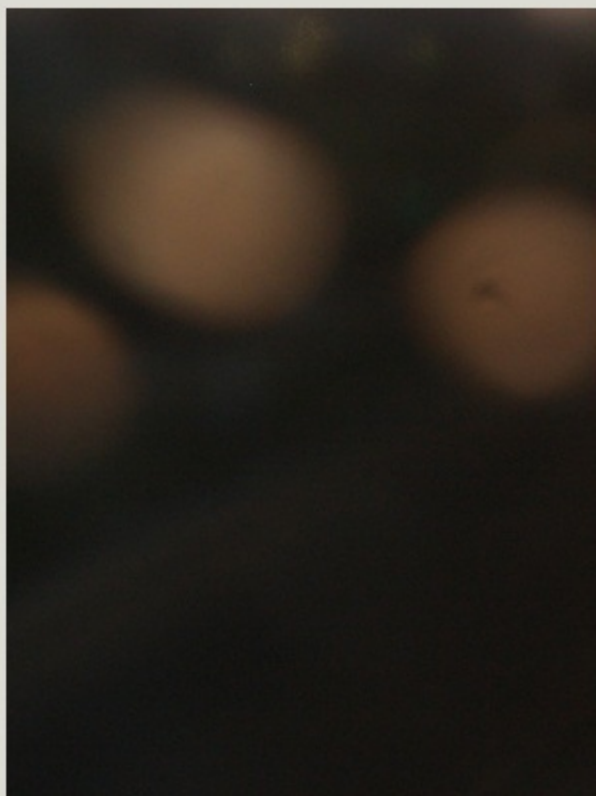


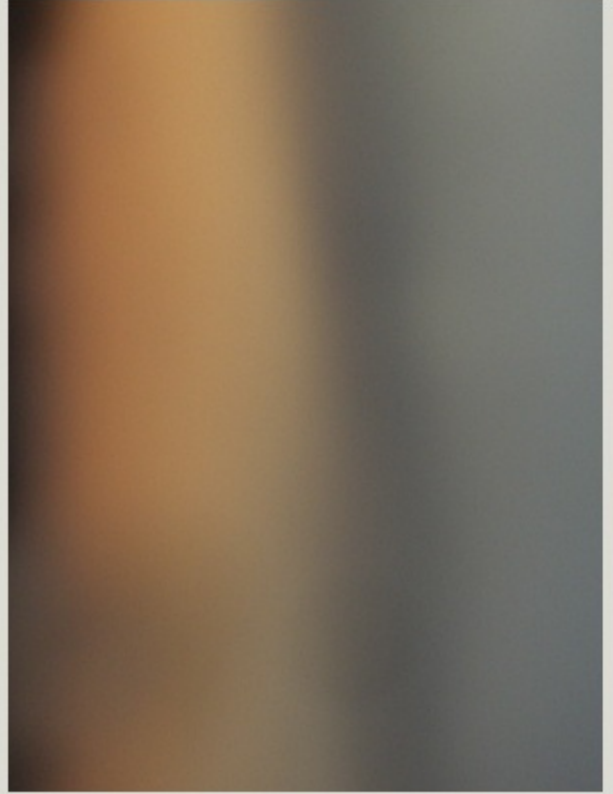
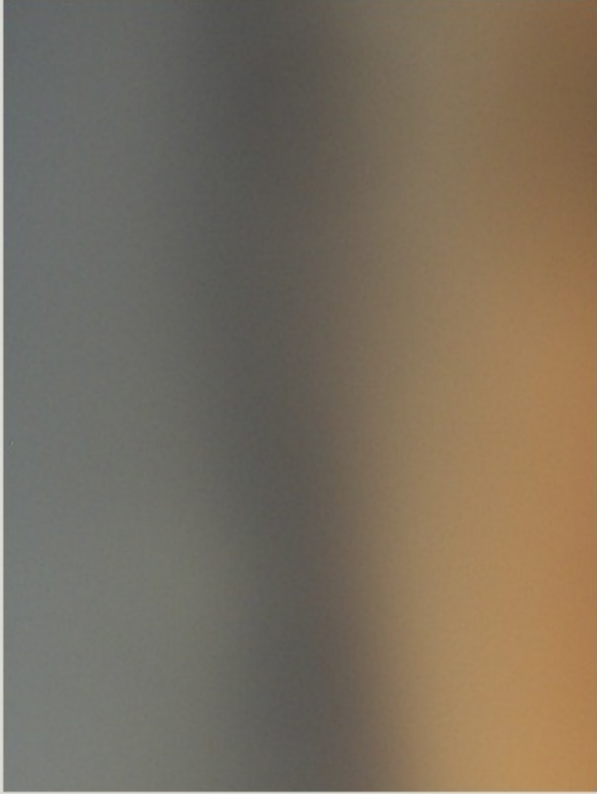






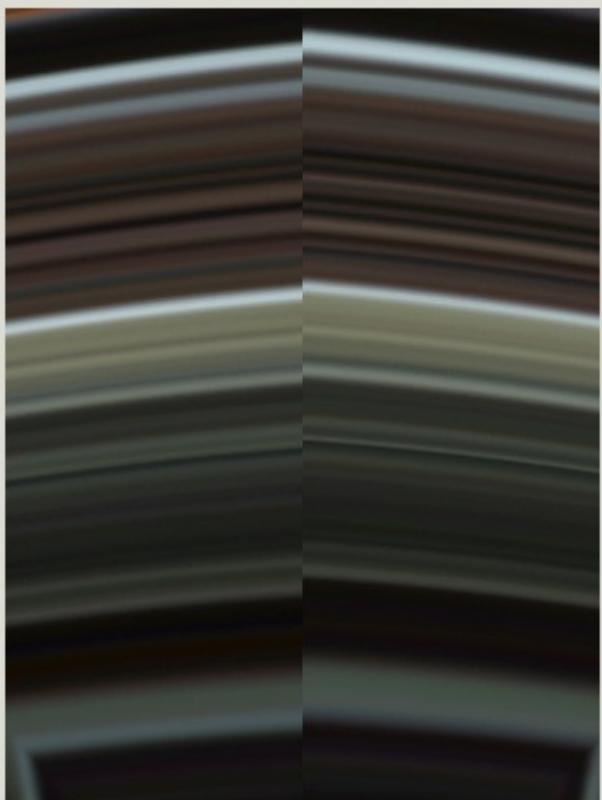








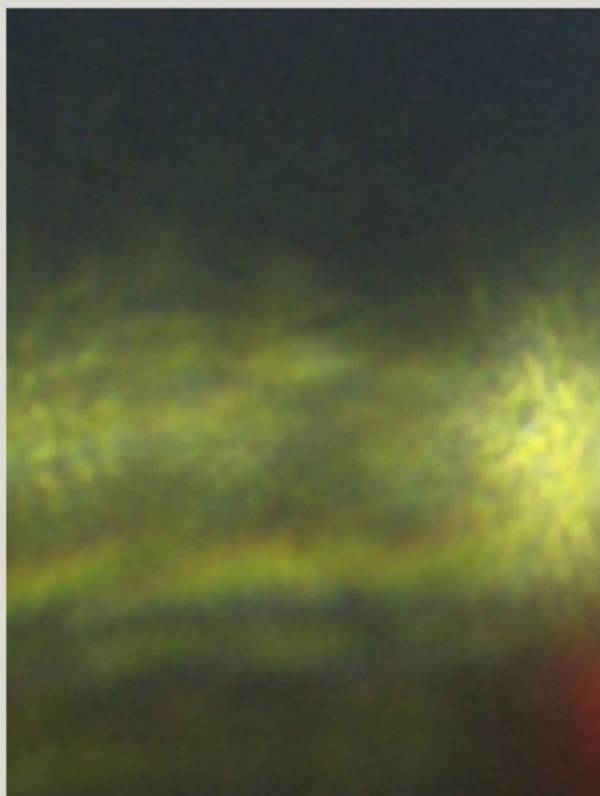


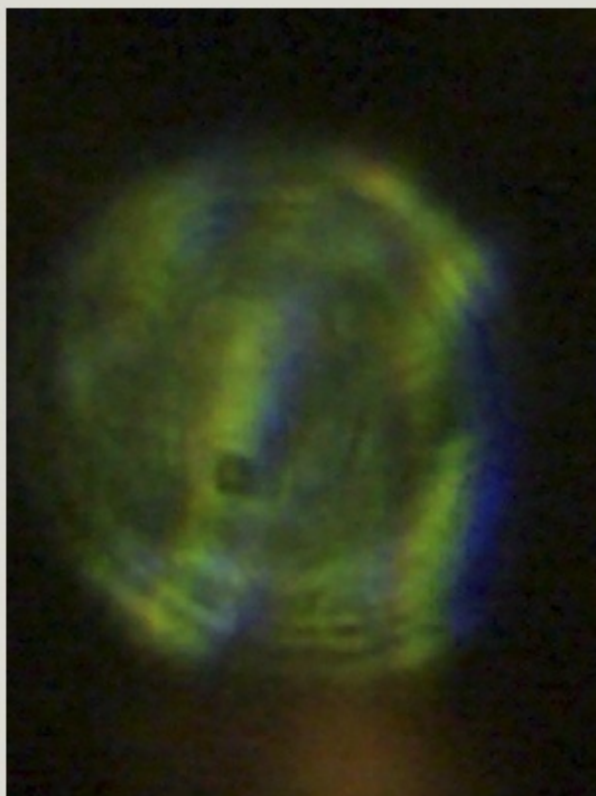


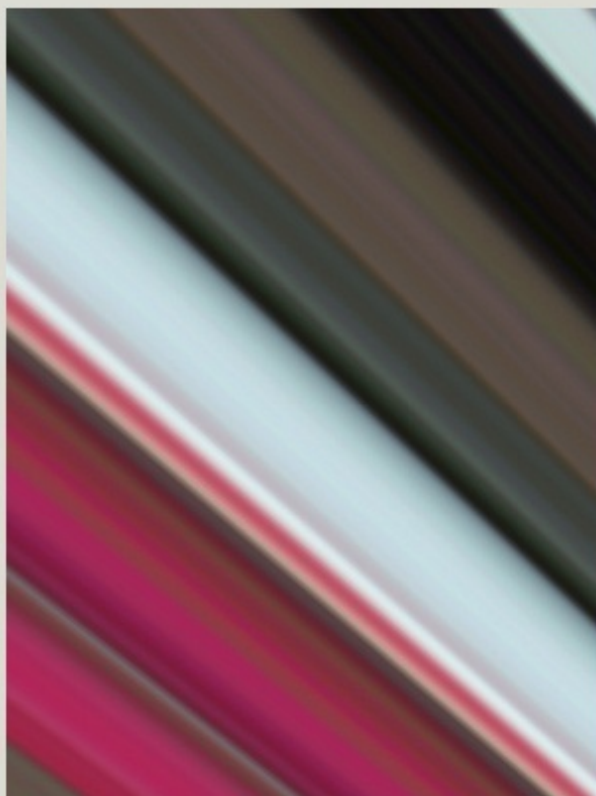




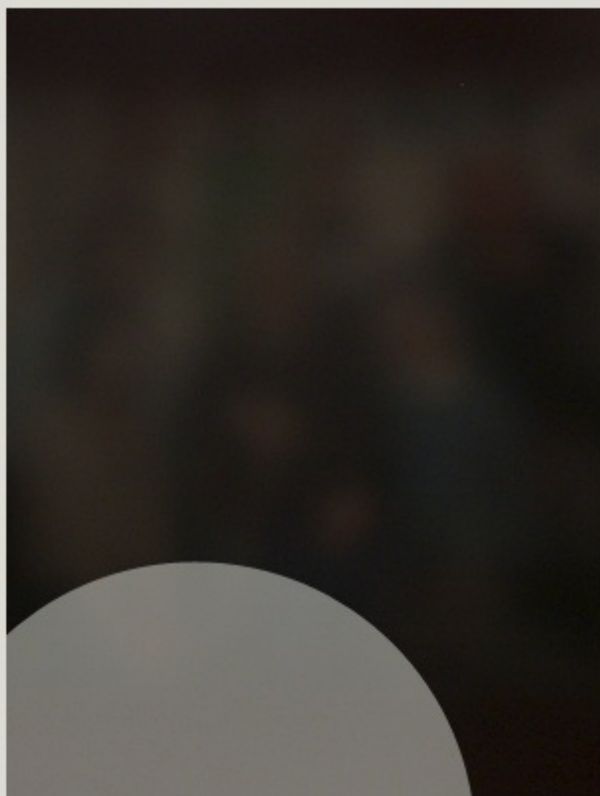














少し期間が空いたので2枚書きました。

波！羅！





OMAKE SHUN AYANO PHOTOGRAPH

めでたい瓶2枚。







今回は、わたしも特集テーマにそって「瓶」を描いてみました。
というのも、SketchBook Proには鏡像を描けるおもしろい機能があるからです。



まずは、瓶をのせるテーブルを、チャチャッと描きます。

水平線を引くには、四角ツールを使うと便利です。

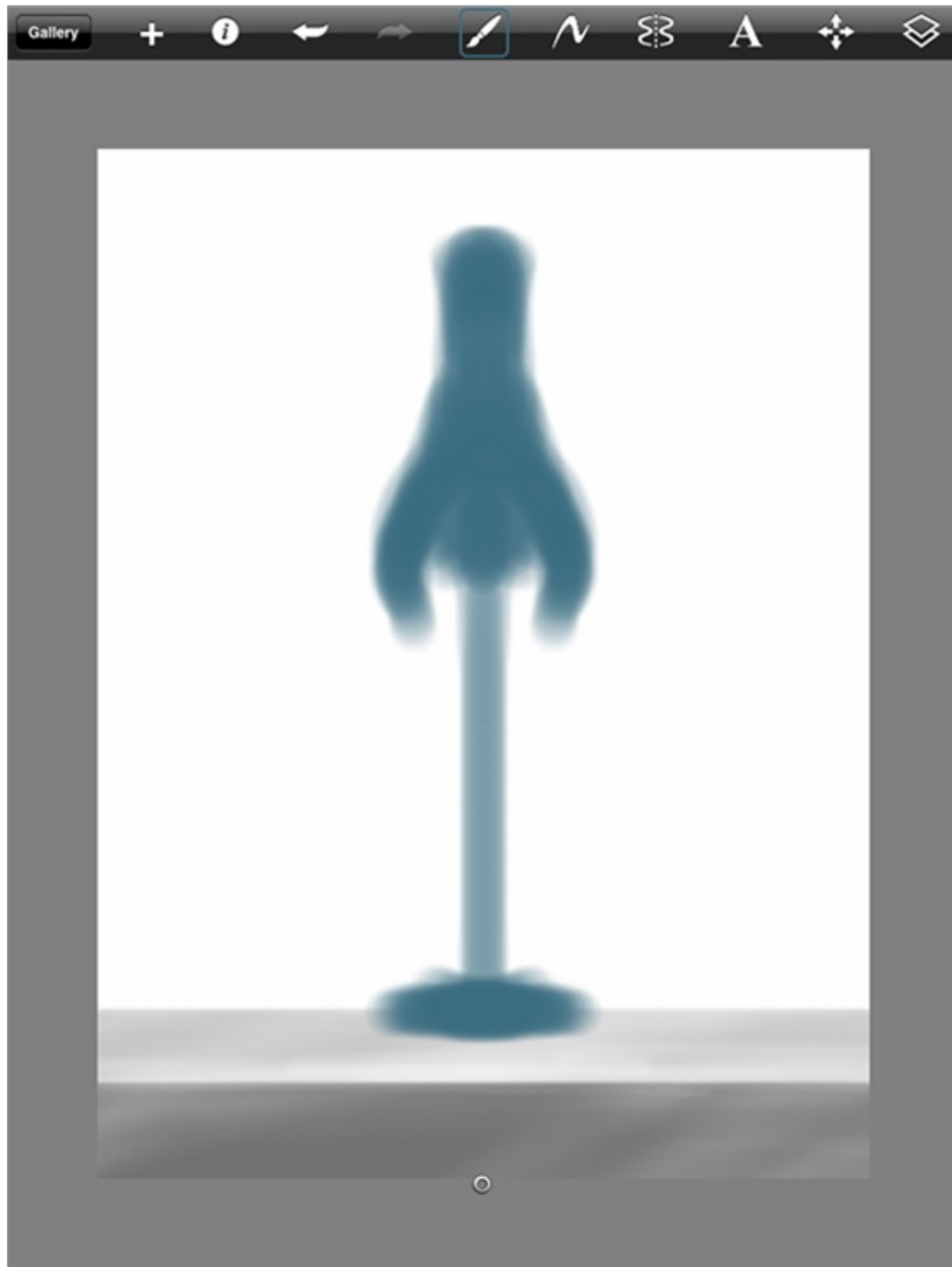


今回利用するのは、赤丸で囲んだ設定。

通常は波線がひとつだけですが、これを向かい合わせの設定に変えると鏡像が描けます。



瓶などを描く場合にとにかく苦勞するのは左右の対称性ですが、
この設定を使えば、その点がとても楽になります。



ある程度の調子をつけるところまで、この設定で行ってしまいます。
言わば、ベース作り。



光のあたり方や立体感は、左右対象ではないので、
設定を通常に戻し、描写を行います。



うしろの壁に落ちた影なども描き加え、さらに描写を進めます。



ただし、描写を進めるとどうしても対称性が崩れてくるので、
もう一度設定を鏡像にして形をととのえます。



細かいところを通常モードでととのえて完成。

この描き方などは「デジタル」ならではの感じがします。



おわりに

今回はいつも連載させて頂いている3D制作とのコラボです！
3Dを絡めた制作をなさってみたい方からの連絡をお待ちしてま～す！
あ～時間がかかった...(紫藤春彦)

瓶と聞いて思い浮かんだのが、牛乳瓶の底のような眼鏡です。
心穏やかでいるために、見たくないものは見ない方向でいきます。（大友裕司）

今回のテーマむずかしいね（綾野俊介）

先日、昔の同僚から
「連載のタイトルが『iPadでPaiting』になってますよ」との
指摘をもらい、早速修正しました。
増刷しないでも直せるところは電子マガジンの利点でしょうか。
いや、お恥ずかしい...。（スギオカカズキ）

月刊オサス／6号

<http://p.booklog.jp/book/34653>

著者：猫手堂

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/nekotedou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/34653>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/34653>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.